

★「大軍拡・増税に反対する請願署名」第一次集約★

5月3日を一次集約としました「大軍拡、増税に反対する請願署名」は三井住友海上9条の会として196筆となりました。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。九条の会事務局へ提出しました。なお、署名は引き続き受け付けますので、お手元にある方、周りにお願ひできる方はお送りください。

★カンパのご協力ありがとうございました★

3月25日付三井住友海上9条の会たよりNo.41にてカンパのご協力をお願いしましたところ、多くの方々から総額124,744円（現金115,000円＋切手9,744円）をお寄せいただきました。心より御礼申し上げます。郵送費や事務用品費、会議費等にさせていただきます。ありがとうございました。1年間の収支につきましては、12月末状況を来年1月にご報告いたします。



★5月3日憲法大集会が開催されました★

5月3日の憲法記念日に有明防災公園で憲法大集会が開催されました。五月晴れの下、全体では25,000人の参加があり、三井住友海上9条の会からは14名が参加しました。ご参加の皆さま、お疲れ様でした。

集会では冒頭「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」の高田健さんがあいさつし「岸田政権は専守防衛を放棄し、敵基地攻撃能力保有など戦争を準備しているが、やるべきは平和の準備だ。岸田政権は任期中に改憲すると言っているが、全国でたたかい、改憲を阻止しよう」と呼びかけました。



五月晴れのもと、開放的な空間で力強いスピーチにエネルギーをチャージできました。
田村

風もあって爽やかな日でしたね。昨年よりも参加者が多くてよかったです。スピーチは知らない人が多かったです。憲法集会の看板は昨年と同じ、使い回し？ 大石

久しぶりの参加でした。

各界の方々からのスピーチやメッセージは、わかりやすく、力強く、熱気がどんどん伝わってきました。特に沖縄の代表の方のそれは、過去の痛ましい事件のこと、抗議大集会のこと、現況等そこで体験した方ならではの訴えで心に迫ってきました。

私の斜め前に、憲法9条を背中に印刷したTシャツを着ている人がいて、その背中の文字を何度も読みながら「絶対に守らなくてはいけません」とあらためて思わせてくれた集会でした。

折笠



全体で 25,000 人の参加は集まったほうだと思います。元気になりました。
三井住友9条の会でも久しぶりの方 3 名にお会いでき少し広がりました。
しかし、集会は特に変わった催しが無く国会議員の挨拶、各分野での発言でした。
もっと会場参加者を巻き込んだ元気の出る歌を歌うとか、呼びかけに皆で応えとか
あったら良かったと思いました。
また、憲法9条は例年になく危険な状況にあることの怒りをもっとぶつける集会であって
欲しかった。個人的な意見です。でも今後も頑張る力をもらいました。 中澤

5月3日の憲法記念日に25,000人も集まったのに、4日のテレビは行楽情報ばかりでした。マスコミの在り方に問題があると思います。 福田

その通りだと思います。メディアにどれだけジャーナリストとしての矜持を持っている人がいるでしょうか。望月衣塑子さんのいう通り、「同調圧力」が蔓延しているのでしょうか。 岡本



マスコミは危機的状況だと思います。
東京新聞、赤旗は一面トップ記事でしたが、朝日は扱いが小さく、毎日18面で報道。しかし野党の参加は伝えず。5面では、女性首相候補について大きく報道。
NHKは報道しましたが、政党関係者は立憲民主のみでした。
東京新聞の見出しは「新たな戦前 避ける」「護憲集会に2万5000人」でした。
ご参考までに。 宇佐美

★職場九条の会共同行動実行委員会が新宿駅で街頭宣伝を行いました★

職場九条の会共同実行委員会（損保、商社、銀行、生保、外銀、海運、出版OB、実教出版、千代田、東京労金OBの各9条の会）は5月12日（金）14時～15時 新宿駅西口にて「大軍拡・大増税に反対する請願書名」の街頭宣伝行動を行いました。強い日差しの中、約60名の参加でスピーチ、署名、チラシ配布、スタンディングが行われました。三井住友海上9条の会からは4名が参加しました。



わずか1時間の行動で、配布した共同ビラは420枚、大軍拡・大増税に反対する署名は33筆に及びました。



★7月22日（土）に武田美通作品展の見学会を行う予定です★

鉄の造形作家、武田美通「戦死者たちからのメッセージ」作品展見学⇒小林多喜二関連の築地めぐり⇒懇親会を行う予定です。詳しくは次号の「たより」にてお知らせします。

…商社九条の会・東京の講演会に参加して…

5月13日(土)文京区民センターにて、商社九条の会・東京主催の伊藤千尋氏(元朝日新聞特派員・国際ジャーナリスト)の講演がありました。すべてのお話が興味深く、あっという間の100分間でした。その中でも、特に「へえ～」と思ったことは以下のことです。

日本国憲法はアメリカに押し付けられたという人がいますが、9条を考えついた人は戦後の首相、幣原喜重郎であり、彼が1946年1月24日マッカーサーに進言し、命令として出してもらうように3時間かけて説得したということです。つまり幣原がマッカーサーに押し付け、そのあとマッカーサーが日本に押し付けた形をとったということ。このことは国立図書館の資料やマッカーサー回想録に記載されているそうです。

幣原喜重郎:9条はこうして考えついた

「原子爆弾ができた以上、世界の事情は根本的に変わってしまった。戦争をやめるには武器を持たないことが一番の保証になる。軍縮を可能にする方法の一つ。世界がいつせいに一切の軍備を廃止することである。ここまで考えを進めてきた時に、第九条というものが思い浮かんだ。今こそ平和のために起つ時ではないか。僕は天命を授かったような気がした」

「憲法は押し付けられたという形をとった訳であるが、当時の実情としてそういう形でなかったら実際にできることではなかった。僕はマッカーサーに進言し、命令として出してもらおうよう決心した。一步誤れば国賊の汚名を覚悟しなければならぬ。僕は元帥と二人きりで長い時間話し込んだ。すべてはそこで決まった」

マッカーサー回想録:

マッカーサーは「腰が抜けんばかりに驚いた」

幣原は最後に「世界は私たちが夢想家と笑うでしょう。でも百年後には預言者と呼ばれますよ」と涙ながらに語った。

「押し付け憲法なのだから自分たちの憲法を作ろう」という人がいたら、この話をしたいと思います。それにしても昔の政治家は、一生懸命仕事していると思いました。 福田



三井住友海上9条の会・事務局

世話人/呼びかけ人 岩越・一色・大石・岡本・折笠・川上・土田・谷・
中澤・蓮沼・伴・翠川・山本・福田